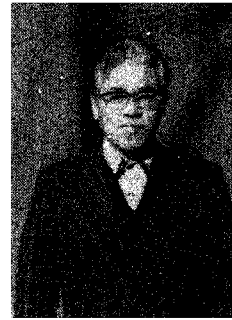


昭和54年 未(羊)年生まれ 新年の 抱負を語る

未年の新年にあたり



菅谷 仁
(中央二)

昭和五十四年の新年を迎えおめでとうございます。今年は十二支でいう未年で、私も昭和六年の未年生まれです。占いの書物などで

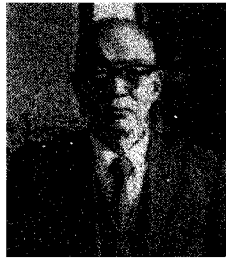
よく目にするのですが、未年生まれの人の短所は、諸事に消極的で遠慮がちで取越し苦労が多く、自分の考えや主張をすなおに表現することが下手だということです。質とか、過去における行動等を考えあわせると、当らずとも遠からずというように思われます。

このような短所(特徴)をどうしたら社会生活に於いて長所におきかえられるか。戦後二十年間の、高度成長を経たあとの現在の低成長下の日本経済のなかにおける社会生活では、他人には消極的と思われるかも知れないが、所謂「熱慮深謀型」の人の方がきびしい社

会生活を切りひらいて行くには適性であると思うのです。そこで、今年こそは未年生まれの私達が心気一転し、自分の特徴を積極的に生かして自己の事業に職業に、そして社会奉仕に全力投球をして、低成長下の日本経済のなかにおける社会に、光明の灯火を点灯することが出来るならば、それこそ消極的という短所をみごとに長所におきかえたとはいえるのではないのでしょうか。

未年生まれの皆さん、今年こそは私達の年です。私も今年こそは大いに発憤し、努力しそして、いくらかでも社会に貢献出来る社会生活をする所存でございます。

その後六年まで義務教育になりましたが、今と違って、親も、子供の手足が伸びると仕事の手伝いを待っていて、教育は二の次でした。ですから、高等小学校に進学する人はほんのわずかでした。大戦後は義務教育も小学校六年、中学校三年になり、教育施設も整備され教育文化も向上して、今では高等



小笠原 武夫(宝)
明治28年生まれ

羊年に思う

市民の皆様、新年お目出とう御座います。私も七回目の羊年を迎えて八十四歳になりました。羊年は、平和で穏やかな年と云いますが、時には大荒れする事もあります。私の第一回目の羊年は、明治四十年で、山梨県の国中方面や郡内地方では豪雨が続き、特に笹子

川や大幡川などは大洪水となり、山は崩れ、家や畑も流失し、山崩れのために多くの人命を失うという大災害になりました。私も家や畑を流失されました。被害者も多数で、そんな中で北海道に移住した人も多勢いました。今も、あの広い川原に家屋や流木の山、死体などを目に浮かべるとぞつと致します。又、昭和十八年の羊年は、世界第二次の大東亜戦争の真最中でした。日本の運命を賭けた大戦争ですから思い出は涙山あり過ぎるので筆を止めます。平和な羊年でも、万事に気を付けて穏やかな年である様祈念致します。

ところで、昔と今とは様々な点がありますが、ここで例えば教育について考えてみましょう。私達の子供の頃の義務教育というのは尋常小学校四年でありました。その後六年まで義務教育になりましたが、今と違って、親も、子供の手足が伸びると仕事の手伝いを待っていて、教育は二の次でした。ですから、高等小学校に進学する人はほんのわずかでした。大戦後は義務教育も小学校六年、中学校三年になり、教育施設も整備され教育文化も向上して、今では高等

自分の年をむかえて

東桂小6年 佐々木 千津子
昭和42年生まれ



私は羊年の早生まれです。同じ組にほかにも羊年は五、六人います。自分の生まれた羊年をむかえてうれしく思います。でも私の生まれは3月4日なのでまだ12歳にはなれません。「もう少し生まれが早ければなー」とときどき思います。でも生まれが仲間やおそいから「いやだなー」と思う時はそんなにありません。

羊年の前の年は馬年です。組の友だち大部分が馬年なので時々「くやしい」と思う時もあります。でも羊年がいやなわけでもありません。ただみんなと同じ年に生まれたかったなと思うこともあります。もし私が馬年に生まれたら「羊年に生まれたかったなー」と思ったかも知れません。だからいまの年がいちばん私にあっていそうな気がします。でもおそ生まれでそんなことをすることがあります。35人のクラスで音楽の時間みんなが二人づつ歌ったのに出席番号が35番なので人がたりなくて一人で歌ったりします。そんなことがたまに気になります。

生まれて12年になります。まだそんなに年がたっていないような気がしたりもう12年もたったのかーというろと感じます。

3月4日がくれば私もみんなと同じ年なんだな早くたん生日がこないかなーと思います。

もう少しで小学校卒業、自分の年をむかえた羊年に卒業なんて、よろこびはわすれません。

新しい年をむかえて

東桂小6年 三枝 幸一
昭和42年生まれ



今年の4月は、もう中学生だ。ちょうどぼくの生まれた昭和42年からひとまわりしたわけだ。12年前の3月31日に生まれて、今日までいろいろのことを学んできた。父や母や先生や友達から、ぼくが困っている時や、悲しんでいる時は、なぐさめられた。6歳の時の肺えんになりかけの時も、8歳の時にした大やけどの時も、「死ぬかと思った」と母が言った。だけどぼくは、今、こんなに大きくなった。ぼくの生まれた羊年に中学へ入学出来るのをうれしいと思う。これからの12年間は、どんな年が来るだろうか。

楽しかった小学校生活も、あと3カ月だ。6年間の総まとめをして中学校へ行きたいと思う。先生がいつも言われるやる気、元気、根気のこの三つの気持を今の二倍も三倍も大きくしたり、勉強も運動も今よりずっとずっとならばってやりたいと思う。これから大人になるのだからりっぱな心と体と新しいめあてをもって中学へ進みたいと思う。

今までの人に感謝して、希望をもって中学生になろうと思う。今年、思いっきりがんばるぞ。

